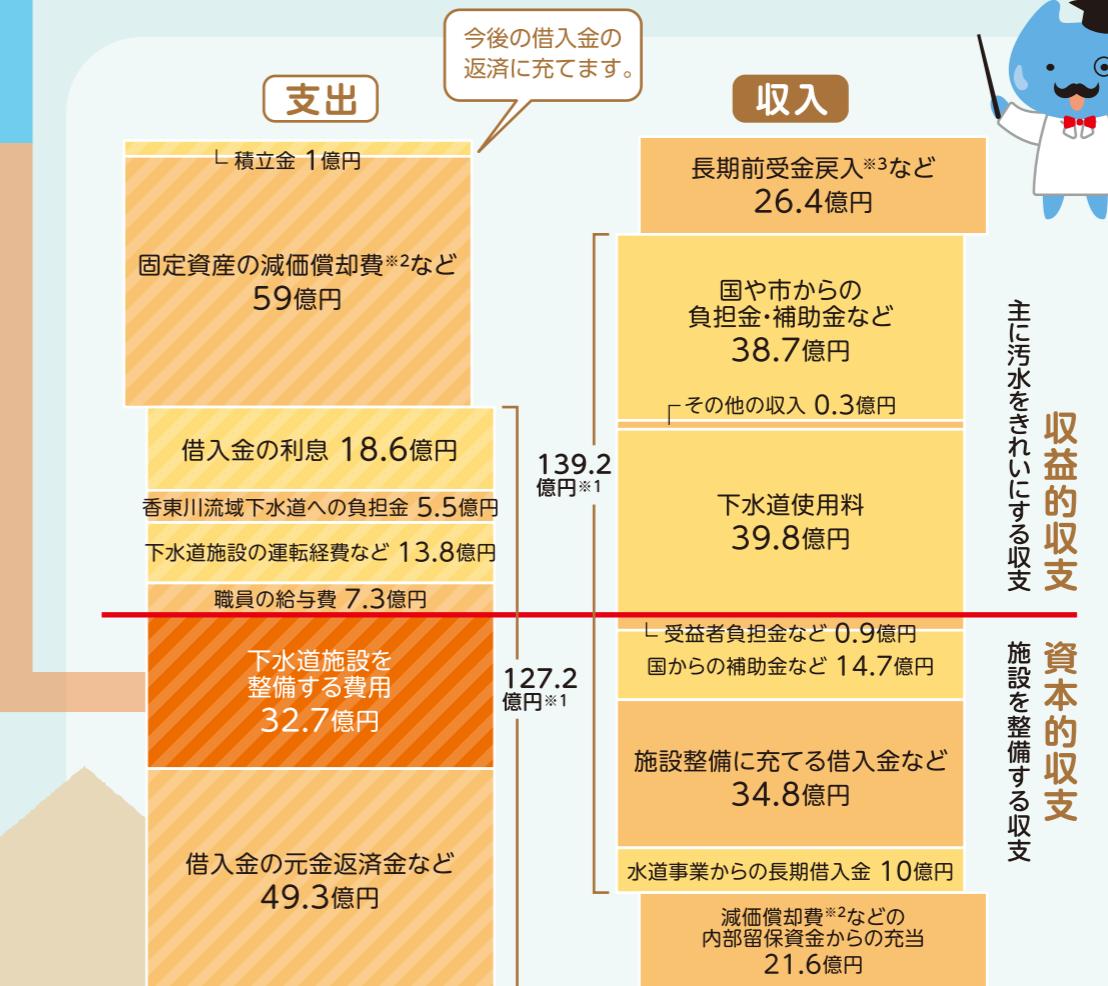
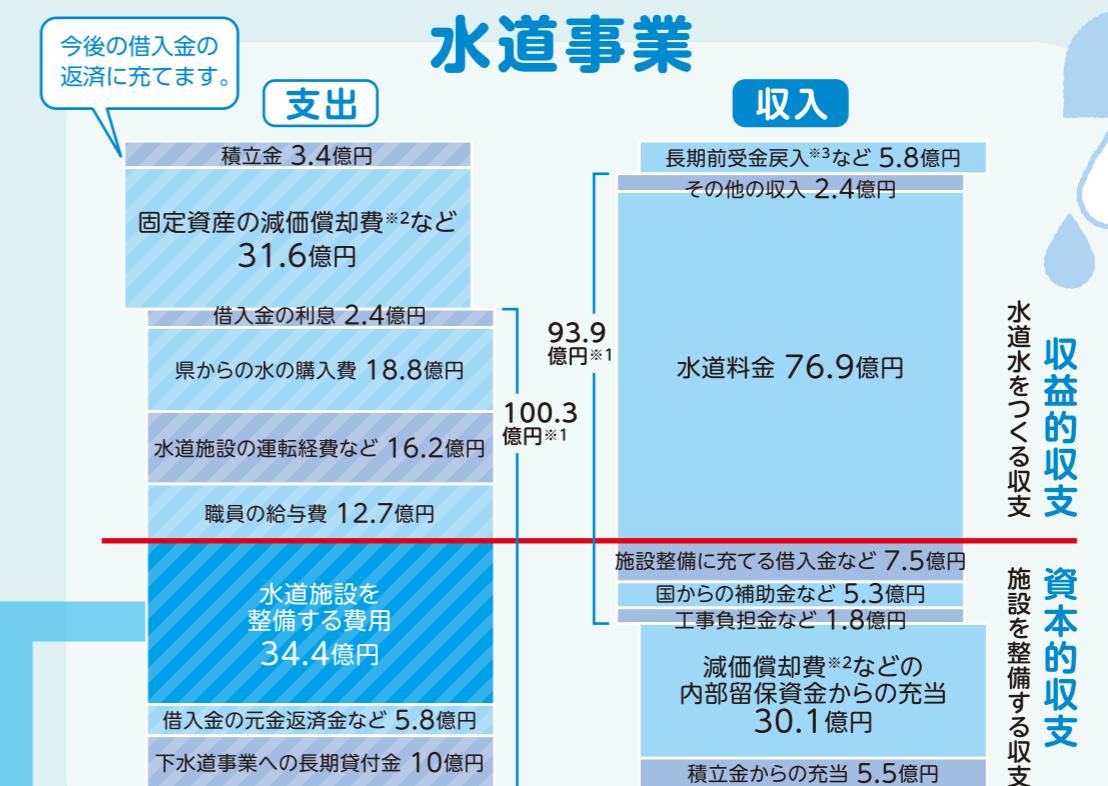


高松の水道・下水道

決算報告～平成26年度～

平成26年度の水道・下水道事業は、夏場に気温の低い日が続いたことなどから、水道料金・下水道使用料収入ともに、前年度を下回りました。また、下水道事業では、雨水処理に必要な費用と、汚水処理に必要な費用の一部を、市からの負担金・補助金で賄っています。



下水道事業

地震が起こっても水道に影響がないように…

水道施設の耐震化

水管橋耐震補強工事

香東川に架かる成合大橋の隣には、口径1,000mmの水道管が設置されています。地震によってこの管が落下したり継ぎ目が抜けることがないよう、柱の増設工事を行っています。



基幹管路の耐震化

多肥上町などで、口径1,000~1,100mmの老朽管を、口径900mmの耐震管に取り替える工事を行っています。東西に伸びる耐震化済みの管路と接続し、将来的に浅野浄水場につながる基幹管路全てを耐震化する予定です。

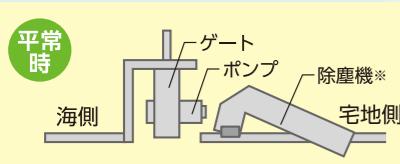


地震対策

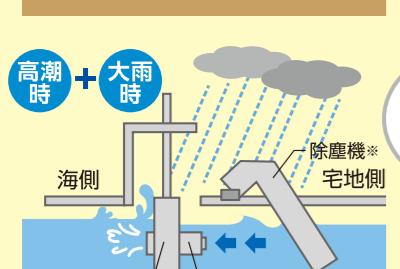


高松市では、災害に強い上下水道の構築に努めています。

浸水対策



仕組みポンプゲートの



状況に応じてゲートやポンプを稼働させる仕組みです。

ポンプゲート設備工事

屋島西地区の浸水対策として、汐入川にポンプゲート設備を建設しています。高潮と大雨が同時に発生した場合に、ゲートに設置されているポンプを稼働させ、雨水を海側へ排出し、市街地の浸水被害の軽減・解消を図ります。



ポンプは口径1,500mm、全長5.8m~7.5mの大きさがあります。
天井からポンプを吊り込んでいる様子

浸水対策

ゲートを降ろし、ポンプを稼働させて宅地側に降った雨を海側に排出します。

※大きなゴミを取り除く機械

主な施設整備

お客様から頂いた水道料金・下水道使用料で、さまざまな事業を行っています。平成26年度は水道施設の耐震化を進めるとともに、予備水源の開発や、浸水対策としてのポンプ設備の整備を行いました。

いつでも安定して水道水を供給するために…

予備水源の開発

深井戸さく井工事

渴水時の予備水源として、東ハゼ町に深井戸を整備しました。取水した水は、奥の池のポンプ設備を経由して御殿浄水場へ送水します。



深井戸水除鉄・除マンガン施設築造工事

東ハゼ町の深井戸水は鉄・マンガンが多く含まれており、そのまま浄水場まで送水すると、管の内部に酸化した鉄やマンガンが付着し、管をふさぐ可能性があります。そこで、鉄・マンガンを除去するための施設を整備しました。



水道水をつくる収支
収益的収支
資本的収支

施設を整備する収支
施設を整備する収支

主に汚水をきれいにする収支
収益的収支
資本的収支

施設を整備する収支
施設を整備する収支

*1 実際に現金の出入がある項目の合計額
*2 固定資産の取得に要した金額を、使用期間に応じて費用配分し、計上すること。
*3 固定資産の取得に伴い交付された補助金等を、減価償却に応じて順次収益化すること(現金流入は伴わない)。